

井田川小学校 学校だより

健やか井田川元気な子

【教育目標】豊かな心を持ち、自ら考え、たくましく生きる子どもの育成

令和6(2024)年 3月25日 No.20

今年度、本校の教育活動へのご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

鈴鹿川と安楽川の水面に吹く風が春の訪れを告げています。

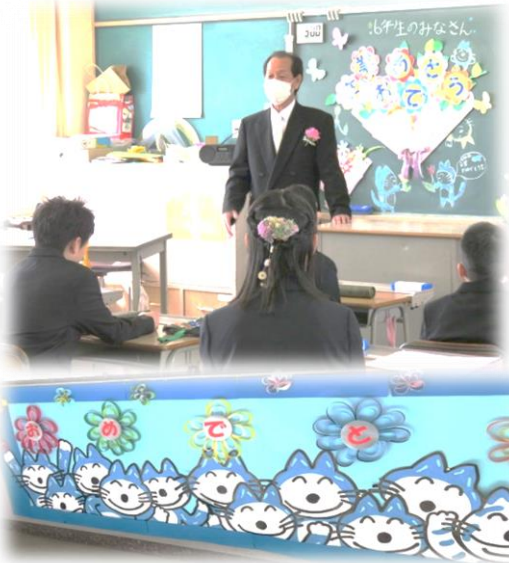
振り返ると、昨年、5月から新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられ、一定の感染防止対策を継続しながら、以前の学校生活がもどってきた1年間だったと思います。

さて、3月19日(火)、令和5年度卒業式を挙行し、第45期本校卒業生、26名が巣立っていきました。

自然災害や世界各地での紛争、経済不安といった社会情勢を反映してか、今の子どもたちは、「夢をもつ」ことさえ難しい時代に生きていると言われています。

卒業生には、まず、自分は「こうなりたい」と強く思うことから、夢への一歩が始まるという主旨のメッセージを贈りました。

中学校でも様々なことに挑戦し、夢に向かって未来を切り拓き、たくましく成長してほしいと心から願っています。



卒業式のリハーサル 3/18



3/11(月)防災学習～心に刻む3.11～

東日本大震災から12年目となるこの日、市内全小中学校で防災学習が行われました。

本校では、体育館で、防災安全担当者から地震発生時の行動や対策について話を聞いた後、鈴鹿市教育委員会が制作したDVDを視聴しました。このDVDでは、宮城県牡鹿郡女川中学校と鈴鹿市の中学校の生徒の俳句の交流事業についても紹介されています。視聴後は、実際に運動場に避難し、防災への意識を高めました。



ダンゴムシのポーズ
地震が起きた時に、頭を守るために体を丸くする姿勢

4月下校時刻の変更

4/ 8(月) <誤> 始業式 2年～6年 11時下校予定



<正> 2年生～4年生 10:25頃 下校予定

5年生と6年生 11:30頃 下校予定(入学式準備のため)

5月の主な行事予定(現時点)

- 5/ 1(水) 家庭訪問(テクノタウン小田方面)
- 2(木) 家庭訪問(テクノタウン小田方面)
- 7(火) 家庭訪問(予備日)
- 9(木) 遠足(亀山東野公園予定)
- 15(水) 学校運営協議会
- 20(月) 避難訓練 5限目終了後に引き渡し訓練



※ お忙しいとは存じますが、引き渡し訓練へのご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

※ 4月初めに、主な4月行事予定と5月行事予定を再度、掲載いたします。

2/15(金) 昔の人々の生活を学ぶ～3年生～



ダイヤル式の電話や発電機、昔の学校の授業風景のパネルなども掲示していただき、子どもたちは熱心にメモをとったり、講師の方に質問したりして活動していました。

今年度も三重県地球温暖化防止活動推進員の方々を招いて、3年生が昔の人々の暮らしぶりを学習しました。

子どもたちは、グループに分かれて、明治・大正・昭和の初期頃に、実際に家庭で使用されていた物に実際に触れたり、動かしてみたりして、授業で学習した内容を深めることができました。

令和の日本型教育の推進

メディア等で既にご存じかもしれませんが、「令和の日本型学校教育」とは、2020年代を通じて実現を目指す新しい学校教育のあり方です。

新型コロナウイルス感染症等の未知なる病気の発生や少子高齢化、人工知能(AI)の急速な進歩、高度情報化社会の時代を迎え、新たな学校教育のあり方が検討されました。

この中では、これからの時代を生きる子どもたちには、「自ら学び、考え、周囲の人と話し合っ、課題や問題を解決していく力」が必要とされています。

こうした力を養うために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある授業が求められており、本校においても、「教師は何をどう教えるのか」という授業スタイルから「子どもは何をどう学ぶのか、何ができるようになったのか」という子ども自身の学び《主体的・対話的で深い学び》の実現に向け、授業改善に努めております。

どの学校においても、教職員の働く環境や超過勤務等が課題となっておりますが、来年度においても、教育委員会から指導主事を招き、全職員が公開授業を行い、放課後に事後検討会を行ったり、他校のICT教育や人権教育等の研修会に参加したりして、指導力の向上と授業研究を行う予定です。

子どもたちの「生きる力」は、学校で学んだことだけでなく、家庭や地域での経験や体験を実際の生活に活かしていくことによって育まれていきますが、そのためには、家庭や地域の方々の理解と協力が欠かせません。

今後も子どもたちの学習や諸行事、放課後や休日等の生活について、ぜひ、家庭や地域で話題にしていいただければ幸いです。

個別最適な学び・・・子ども一人ひとりが自分の目標や進度に合った形で学んだり、自分の興味関心のあるものを選んで学んだりすること。

協働的な学び・・・探究的な学習や体験活動などを通して、子ども同士、あるいは企業や地域の人など、多様な他者と協働しながら学んでいくこと。



〔6年生を送る会 職員作業〕

ホームページアドレス：<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/esidagawa/>

井田川小学校 TEL:059-378-8972 FAX:059-378-8886

